

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス事業所 輝なっせ		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 13日		2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36名	(回答者数) 29名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 13日		2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	■職員みんなが、子どもが大好き ※子どものことを知りたいという気持ち。	<ul style="list-style-type: none"> ■子どもが好きだからこそ、子どもの事を知る為に、常に情報を得る、調べる。 ■子どもが好きだからこそ、押し付けない。 ■子どもが好きだからこそ、子どもの意思を大切に。 ■子どもが好きだからこそ、子どもの話に目線を合わせ徹底的に耳を傾ける。 ■子どもが好きだからこそ、子どもの良い部分も悪い部分も認め、リフレーミングし、子どもが嬉しくなるそれぞれの褒め方で、できるだけ早く褒める。 	<ul style="list-style-type: none"> ■子どもへの聞き取りを行い、子ども自身の夢へのサポート。 ■個々の子どもの快、不快を職員でより具体的に共有する。 ■共有する言葉を具体的な表現や言葉で解釈する。 ■褒めポイントの共有と具体化。 ■支援の個性性と具体的な記録と結果の共有
2	■職員みんなが、家族さんが大好き ※保護者、兄妹を含めた家族を少しでも支えたりという気持ち。	<ul style="list-style-type: none"> ■ご家族の子育てと日ごろの関りや取り組みに尊敬と感謝。 ■ご家族の話を丁寧に寄り添って傾聴する。 ■ご家族の形に無理のないあった方法を提案する。 ■ご家族と雑談を楽しみ、息抜き場を設定する。 ■ピアサポートなど同じ境遇の人とマッチングし相談できる場所の提案。 	<ul style="list-style-type: none"> ■家庭での目標設定 ■連絡手段の多様化 ■相談しやすい環境づくり ■保護者会、茶話会等の開催
3	■個別性のある支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> ■支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援 ■支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有 ■日々の支援に関して記録を取り、支援の検証・改善につなげている ■活動プログラムが固定化しないよう工夫 ■子どもが自己選択できるような支援の工夫 ■子どもの個性や特性に合わせて、時間、空間、手続きの構造化を実践 	<ul style="list-style-type: none"> ■打ち合わせ内容の標準化 ■役割分担の明確化 ■情報共有ツールの活用 ■振り返り内容の明確化 ■プログラム作成への多様な意見の反映、プログラム内容の定期的な見直し ■地域資源の活用 ■構造化に関する研修の実施 ■構造化チェックリストの活用 ■構造化支援ツールの活用

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	■保護者会や茶話会など、保護者同士の交流	<ul style="list-style-type: none"> ■保護者交流の段取りが遅く周知も遅れた ■保護者同士の情報交換の場や茶話会等の計画提出ができていなかった 	<ul style="list-style-type: none"> ■企画をする段階で、開催までのタイムスケジュールや段取りを細かく決め、余裕をもった周知を行う ■保護者の意見を参考にしながら、交流の機会を設ける
2	■地域の子どもの交流	<ul style="list-style-type: none"> ■地域の学校や児童館と交流する場を設定することが難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ■他事業所の子ども同士または、職員同士の交流、情報交換ができるよう交流の機会を検討していく ■地域の学校や児童館など、どのようにすれば利用かつ交流ができるか検討していく
3			

保護者等からの事業所評価の集計結果

(別紙4)

公表

事業所名	放課後等デイサービス事業所 輝なっせ
------	--------------------

公表日 令和8年3月1日

利用児童数 37名

回収数 29

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	93.1	3.4	0.0	3.4		・法的基準を満たしています。 ・放課後等デイサービスのガイドラインにある、こども一人当たり2.47㎡以上の床面積があります。 ・支援室の構造化をしていますので、クラスによっては、狭く感じてしまうかもしれません。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	79.3	0.0	0.0	20.7	・PT、OT、STが揃って良い	・専門職を配置し、専門的実施計画書をもとに個別性のある支援を行っています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	93.1	3.4	0.0	3.4		・子どもさんの個性や特性に合わせて、“時間、空間、手続き”3つの構造化を取り入れています。 ・段差のないフラットな玄関にしていますので、スムーズな入室ができます。 ・2段階で手すりの設置をしており、体に合わせて使い分けができます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	93.1	3.4	0.0	3.4		・活動内容に合わせて、仕切りで部屋を区切るまたは撤去するなど工夫をしています。 ・子どもさんが来所されるまでは、部屋の換気を行っています。また、消毒や空気清浄機等を使用し除菌等の徹底も行っていきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100.0	0.0	0.0	0.0	・子どものことを考え、寄り添い導いて下さり、感謝しています ・長く利用していますが、その時その時の特性や困りごとを理解していただいています	・児童発達支援管理責任者を中心に、保育士、理学療法士、作業療法士、それぞれの目線から意見を出し、個々の特性に応じた支援方法や工夫の検討を行っています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100.0	0.0	0.0	0.0		・支援プログラムは、事業所の支援内容と合わせて提供しています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100.0	0.0	0.0	0.0	・親から見ても、子どものことを良く見て下さり、“なるほど”と親が勉強させてもらっています	・児童発達支援管理責任者を中心に、保育士、理学療法士、作業療法士、それぞれの目線から意見を出し、目標や支援内容の設定を行い支援しています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100.0	0.0	0.0	0.0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100.0	0.0	0.0	0.0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100.0	0.0	0.0	0.0		・児童発達支援管理責任者を中心に、保育士、理学療法士、作業療法士、それぞれの目線から意見を出し、目標や支援内容の設定を行い支援しています。 ・また、中間評価や終了時評価で目標のや支援内容の見直しを行い、ご家族との面談でお伝えしています。
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	41.4	6.9	10.3	41.4		・放課後児童クラブや児童館の利用はできませんでしたが、公園や図書館など公共の施設を利用し、地域の子どもと同じ空間で過ごせる機会を設けています。	
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100.0	0.0	0.0	0.0			
13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100.0	0.0	0.0	0.0			

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	79.3	0.0	0.0	20.7	・勉強会や研修会の開催は行っているものの、周知が進んでしまっていることが現状です。 ・早めの周知を行い、参加の声掛けを行っていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	96.6	3.4	0.0	0.0	・相談しやすいです ・毎日、子どもの様子を口頭や連絡帳で伝えて頂き、安心しています ・連絡帳への記載や送迎時のやり取りで情報共有できています
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100.0	0.0	0.0	0.0	・親も勉強させてもらっています
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100.0	0.0	0.0	0.0	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	34.5	20.7	10.3	34.5	・きょうだい同士の交流が行われているかは分かりません ・懇親会などがあれば行きたいです ・興味はあるので、機会があると良いとは思っています
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	96.6	0.0	0.0	3.4	・相談事に対してすぐ対処して頂き、本当に助かりました
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	93.1	3.4	0.0	3.4	・連絡帳（紙面）、対面（送迎や面談）、電話、LINE等で情報共有を行っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	86.2	3.4	0.0	10.3	・評価表については、法人ホームページに掲載しています。また、ご家族には紙面に配布しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	96.6	3.4	0.0	0.0	・個人情報の取り扱いについては、十分に留意しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	89.7	3.4	0.0	6.9	・各マニュアルの策定はしていますが、ご家族がすぐに確認できるような掲載方法を取る事ができていませんでした。 ・現在、マニュアルの周知方法を検討中です。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	69.0	13.8	0.0	17.2	・年に数回、避難訓練を行い、紙面に様子等をお知らせしています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	93.1	3.4	0.0	3.4	・子どもさんの安全を確保するために、同意書にて説明を行い、支援しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	86.2	6.9	0.0	6.9	・離なっせをご利用中の怪我等については、職員間で連携し電話や送迎時に状況や怪我等の状態を説明しています。 ・また、後日怪我や子どもさんの様子確認の連絡を入れています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	96.6	3.4	0.0	0.0	・子どもさんが安心して離なっせに通い、ご家族が安心して子どもさんを見守ってもらえるよう、日々コミュニケーションを取っています。 ・年齢や成長段階、特性毎に不安や悩み等も出てくると思いますので、いつでもご相談下さい。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	96.6	3.4	0.0	0.0	・子どもさんが楽しめる活動や企画を考え、提供しています。 ・また、“できた！”“またやりたい！”など自己発揮できるよう、子どもさんそれぞれがやりたいことにも寄り添います。

	29	事業所の支援に満足していますか。	100.0	0.0	0.0	0.0	<p>・とても満足しています</p>	<p>・子どもの【できること→より具体的に】【難しいこと→子どもに合った適切な方法で援助】【できそうなこと→療育の中に取り入れ、できることに繋げる】ことを意識し、個性のある支援提供を行っています。</p> <p>・今後も子どもさんやご加速に寄り添い、過ごしやすい環境作りのサポートをしていきます。</p>
--	----	------------------	-------	-----	-----	-----	--------------------	--

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日					
放課後等デイサービス事業所 輝なっせ		令和8年3月1日					
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		はい	いいえ	100	0		
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100	0	・法的基準を満たしている ・ガイドラインにある1人あたり2.73㎡以上ある ・活動に合わせてグループ分けや部屋を分けて対応している	・中高生のクラスは、身体も大きくなっているため、活動スペースが狭く感じてしまう ・周囲の声や物音が気になる子どもさんにとっては、過ごしにくい環境になっているかもしれない	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	100	0	・PT、OTを配置し、より専門的な支援の提供ができるようにしている	・直接支援に関わる常勤3名、非常勤1名の計4名では、クラスによって丁寧な支援が難しい場合もある	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100	0	・子ども達の身長に合わせ、手すりを低い位置と高い位置に設定している ・自立課題やクールダウン、休憩等ができるよう構造化している	・身障者トイレのペーパーホルダーが使いにくい位置にあるため、改善が必要	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100	0	・子ども達が来所されてから“今、すべきこと”に取り組みやすいよう、仕切りを使用した導線作りとエリア分けを行っている ・毎日、療育終了後に清掃や活動に合った環境設定を行っている	・カーテンや仕切りで物理的に分けたが、音が気になる子どもにとっては、部屋を分けるなどの対応が必要な場面もある。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100	0	・4つの個室を作っており、“一人で過ごしたい”“休憩したい”子どもが使用できるようにしている	・“休憩したい”“静かな空間で過ごしたい”という子どもさんにとっては、過ごしにくい環境かもしれない	
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100	0	・PDCAサイクルを基準に、打ち合わせや振り返り、ミーティングを行い情報の共有や支援統一を図っている	・長期休暇や祝祭日は、打ち合わせや振り返りが丁寧にできておらず、今後の課題である	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100	0	・年に1度、保護者へ事業所評価表を配布し、頂いた意見を次年度の療育や環境等の改善に繋げている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100	0	・評価表を集計し、改善が必要なことに関しては職員間で話し合いながら改善している		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	100	・平成29年～平成30年にかけて第三者評価を実施し、指導を行ってもらっているが、令和3年度までの期限であった	・今後、第三者評価の実施を検討している	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100	0	・【ペアレントトレーニング、虐待防止、就労支援】など、集合型の研修に多く参加している		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100	0	・現在は、パンフレットや法人ホームページにて事業所の概要等を掲載している。支援プログラムも掲載している。	・随時、公開していることをお知らせする。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100	0	・保護者の方に子どもさんのアセスメントシートを記入してもらい、アセスメントシートを基に個別支援計画書の作成を行っている ・子どもさんが通う学校や他事業所の様子を聞き取りながら、適宜目標等の見直しを行っている	・支援会議や送迎時などを有効活用し、ご家族や関係機関から情報を収集し、計画に反映するなど、常にアセスメントを行う意識を持ちながら、計画に落とし込めるように工夫する必要がある。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100	0	・児童発達支援管理責任者を中心に目標や支援内容の検討を行っている ・保育士、理学療法士、作業療法士それぞれの目線で意見を出してもらい、個性のある支援を提供している		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100	0	・児童発達支援管理責任者を中心に目標や支援内容の検討を行っている ・打ち合わせや振り返りで目標や支援内容の共有を行っている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100	0	・行動に対する「課題、直前の状況（状態）、直後の支援者の対応、子どもの反応（結果事象）」を分析シートを用いて確認している		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100	0	・放課後等デイサービスガイドラインにある、「本人支援・5領域」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容、アセスメント等を踏まえ、個々にあった目標や支援内容の設定を行っている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100	0	・クラス担当（支援者）を決め、担当を中心に活動内容や活動をする中での個々の目標、工夫する点等を職員間で考えている ・また、個々の特性やニーズに応じた内容の設定を行っている	・活動は1ヶ月前に決定しているが、中身については直前に立案しているため、準備不足な場合もある ・活動プログラムについて早めに立案していくことが今後の課題である
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100	0	・クラス担当（支援者）を決め、担当を中心に活動内容や活動をする中での個々の目標、工夫する点等を職員間で考えている ・活動が同じでも、ルールや支援方法、使用する道具等を前回の振り返りをもとに変更し、楽しみめる工夫をしている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100	0	・子どもの状況に応じて、個別活動、集団活動を組み合わせ個別支援計画書を作成している 個別支援計画書をもとにその日の目標設定し支援をしている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100	0	・振り返りや打ち合わせの時間を設け、“活動内容、個々の目標”を職員間で共有している	・長期休暇や祝祭日は、打ち合わせが丁寧できておらず、今後の課題である
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100	0	・支援終了後には、十分な時間の確保ができない為、次の日職員が全員そろった時間に振り返りを行っている	・長期休暇や祝祭日は、振り返りが丁寧できておらず、今後の課題である
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100	0	・毎日支援に対しての記録を取り”どのようにすると上手くいくのか”等話し合い工夫をしている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100	0	・半年に1回保護者とモニタリングを行い、目標の見直しを行っている ・何が出来るようになってほしいか等聞き直しを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	100	0	・「4つの基本活動」を中心に、子どもさんが成功体験を重ね、自己肯定感を構築できるような時間や場面の設定を行い支援しています	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100	0	・自由時間に子どもさんがやりたい遊びたいの選択が出来るよう、準備できる遊びの一覧表の写真を提示し、要求できるようにしている		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100	0	・会議前には、児童発達管理責任者を中心に子どもさんの状況確認や各関係機関と共有しておきたい情報の確認を行い参画している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100	0	・「地域支援・地域連携」ができるよう、各関係機関と情報の共有を行っている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100	0	・時間割等学校からファックスしてもらっている。また、下校時間がわからない際は学校に連絡し確認を行っている ・支援学校については、連絡調整会議が開催されるので、その際に情報共有等を行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	60	40	・児童発達支援事業から、保育所や幼稚園、認定こども園等での様子の情報提供をしてもらい、放課後の職員間で共有をしている	・情報の聞き取りがメインになっているため、次年度は児童発達支援の療育に入り、子どもさんの様子や行動、関わり方を実際に見て放課後の支援へ活かしていく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100	0	・子どもの“出来る事・難しい事・言葉かけ、今まで取り組んできたこと”等、資料を作成し情報提供を行っている ・必要に応じて卒業後に利用される事業所の方と対面での引継ぎを行っている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100	0	・他機関と協力し、自己研鑽に努めている ・専門職と契約しており年に4回程指導を受けている	
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	100	・地域の施設（図書館やプールなど）を利用し、交流を図っている	・今後も引き続き、検討していく。	

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	100	0	・管理者等が参加し情報提供を行っている	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100	0	・帰りの送迎、保護者が迎えに来た際、子どもの課題や様子を伝え、家庭での様子も聞き取り情報提供を行っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	100	・研修の情報提供をしている ・ご家族の話聞き、状況に合った助言等を行っている	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100	0	・半年に1回ある評価の際「運営規程、支援プログラム、利用者負担」等の説明を行っている。	・報酬改定後、利用者負担額の説明は別表にて説明を行っているが、細かい説明ができていないので、どのような方法で保護者に説明等を行うか検討する
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100	0	・保護者に意向の確認を行ったうえでサービス計画を作成している。また、こども本人とも目標確認する機会を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100	0	・半年ごとに放課後等デイサービス計画を作成後、保護者と対面のうえで内容の説明を行い同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	80	20	・ご家族からの相談に応じ対面等で「家族支援」を行っている。また、必要に応じて学校等も含めた支援会議に参加している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	100	・保護者会は開催していないが、バザーを開催する等保護者同士が顔を合わせるような機会を設けている。	・子どもも交えての交流となっている為、保護者だけの交流の機会を作ってきたい。 ・保護者会や茶話会など検討中
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100	0	・苦情解決委員会を設置し、決められた担当者が対応する環境を設けている。 ・内容によっては、管理者、課長、主任に内容を伝え助言をもらっている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	0	100	・活動の概要や行事予定については毎月お便りを作成し周知している。 ・定期的にSNSを活用して活動状況を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100	0	・個人情報の持ち出しは禁止しており、契約時に保護者への説明を行っている。 ・担当者会議等で事業所外にパソコン等の持ち出しを行う際には、管理者の許可の元持ち出しを行っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100	0	・月ごとのおたより、LINE、Facebookなどを利用し、情報伝達を行っている。 ・利用児に対しては、個々に合った方法で視覚提示等を行い、確認ができるようにしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	40	60	・地域の事業所を招待して運動会を開催した。	
非常時等	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	60	40	・各マニュアルを策定し、保護者説明会や文書を通して周知している ・事故、緊急時、防犯などそれぞれに合わせた訓練を実施している。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100	0	・法人でBCP(事業継続計画)の作成を行い周知している。 ・事業所内の防災担当職員により、11月、3月に地震及び火災の避難訓練を実施。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100	0	・アセスメントシートを用いて事前に服薬状況等の確認をしている。 ・服薬量等が変わる際にはその都度保護者に情報提供して頂けるようお願いしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	40	60	・食事提供は行っていないがおやつ時間を設けているため、アセスメントシートや直接面談等でアレルギー確認を行い、アレルギー食品を摂取しないよう努めている。 ・調理体験を行う際は、事前に使用する食品をアレルギーを持っている子どものご家族に伝え、使用や摂取が可能か確認を取っている。	・おやつを保管している冷蔵庫に、どの子にどのアレルギーがあるか分かりやすいようリストを掲示する、などし誤って摂取してしまう事がないようにしていく。

の 対 応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100	0	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所での安全計画を作成している。 ・KYTの研修などを適宜行っている。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	40	60	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練等の様子についてお便りを作成し、保護者への周知を行っている。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100	0	<ul style="list-style-type: none"> ・“①管理者、支援課長へ報告 ②記録を作成する ③朝礼、ミーティング、回覧で周知”という順序で共有している・共有の順序に関しては、状況に合わせて管理者、支援課長の指示に合わせている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100	0	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内研修委員会主催で虐待防止に向けた研修があり、全員参加している。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100	0	<ul style="list-style-type: none"> ・評価時に保護者への説明を行い身体拘束に関しての同意を得ている。 ・また、放課後等デイサービス計画にも記載している。